

# 無法・不当にキツパリ発言し 社協の指導は福祉優先の行政でこそ

6月議会一般質問で、社会福祉協議会のあり方、公平・公正な運営の確保などの部分（要約）を紹介します。  
職員が非行について幾つか投書がきていますが、根拠となる事実関係が不明ですので、今回取り上げていません。裏づけの事実が確認され次第取り上げて行きたいと思えます。

西澤

この間、社協の一部職員による社会福祉協議会の本旨から逸脱した行為が取り上げられてきた。このパンフレットにあるような事業や直接福祉現場に携わっている職員に多くの町民が感謝をし、尊敬の念で見ている。私もその内のひとり。内閣による福祉や弱者の切り捨てと国民負担拡大を押し付ける政治の下で、介護や医療、福祉の条件がますます厳しくなる中で頑張っている職員にエールを送り、少しでも条件が良くなるように私の持ち場で役割を果たしたい。

町と社協のかかわり方、補助金を出し、事業委託をする関係から社協に対する町の指導責任の根拠は何か。公平公正な運営が特別に求められるところで、法違反はもちろん、職責に反する行為があった場合の浄化担保、復元能力をどこに求めるのか。県下では県当局のマル福制度改悪に反対し、町独自で患者負担を求めない町が生まれている。一方、甲良町は「住民主体」を掲げながら、そこに行き着いていないと思う。

福祉課長

社会福祉協議会は補助団体であり、また、高齢者福祉サービスなどの事業を委託していることから、当然ながら、補助金が適正に執行されているかどうか、委託事業が利用者

にたいし、真にサービス向上につながっているか、チェックする必要がある。その中で、問題、課題等々が何か明らかにし、より良い事業展開ができるように指導する責任があると認識している。

公共性を有する機関においては当然全ての面で、公平・公正な運営をしていくことは当然の理であると認識している。社協の方においても服務規律を守り、地域福祉の向上・発展に全力を尽くすということは言いつまでもない。

職責に反する問題があれば、社会福祉協議会の方で適切に処置をしており、行政としても理事会に名を連ねているので社協のあり方を発言していきたい。

西澤

ぜひとも掲げたスローガンのように（行政が）福祉の優先などの施策の先頭に立つてこそ、社会福祉協議会の諸活動の先導役、よきリーダーになれることを指摘する。

みなさんのご意見・感想・要望などお寄せください。

この間、社協の問題点を伝える電話や投書が続いています。下記は「福祉」という信頼に傷をつける横暴さを訴える投書のごく一部抜粋です。

\* \* \* \*

「もみ消したり、隠したりする人物がいるようです。それが一番の問題だと思います。『火の無い所に煙は立たない』と言いますが、ほとんどの問題が事実でも、消されてきているみたいです。それも辞める人が多い原因の一つだと思います。」「私もこの町をもっと好きになりたいので、これからも頑張っていこうと思います。」

## 甲良民報

2005年7月3日 No288  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在土 463  
Tel.Fax38-4949

Eメール [info@jcp-nobuaki.com](mailto:info@jcp-nobuaki.com)  
のぶあきホームページ  
<http://www.jcp-nobuaki.com/>

